

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	しゃくなげまつりで元気づくり
事業主体 (連絡先)	御代田町観光協会 (0267-32-3111 内線 31)
事業区分	(6) ア 特色ある観光地づくり (8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,430,967円 (うち支援金: 2,079,000円)

事業内容

本支援金を活用しての3年連続(3回目)のイベント開催であった。

町内遊休農地で栽培されたそば粉を使っての地元有志によるそば打ち教室。同じく小麦粉を使って、町の特産品の目玉とすべく取り組むおにかけうどんの提供。地産・地消の啓発などを行った。

また、地元消防団をはじめとする、各種団体による飲食露店のほか、緑化推進のための花・苗木販売を行った。

昨年好評であった、しゃくなげの苗木の無料配布も継続した。

スタンプラリーの実施により、多くの子供達が会場に隣接する真楽寺を訪れ、貴重な歴史遺産に興味を傾けるきっかけ作りにもなった。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

シャトルバスの利用乗降者、臨時駐車場の駐車車両等を数え上げたところ、町内外からおおよそ2,500人の方が訪れた。

多くの出店団体からのボランティア協力を得て、前日準備から、当日後片付けまで事故なく終えることができた。関係者皆が協力し合ってまつりを作り上げるという意気込みのまま、やり終えることができた。

ゆるきゃらによるイベント、末吉くんによる即興ステージ、地元中学生アイドルユニットによる発表など、どれも盛り上がり、地域の活性化につながった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

来年度からは、県からの支援がいただけなくなるため、事業費の捻出を優先課題とし、解決しなければならぬ。町内各企業からの協賛金集めなども、具体的に検討する必要がある。

まつり集客の目玉である露店については、目途がついた。今後も手作りのまつりとして継続したい。ステージ発表については、町民が主役であることを前面に出し、実行委員会のなかでも意見の出された、のど自慢大会や、児童・生徒による成果発表(演劇、舞踊、吹奏楽など)の場面を設けたい。まつり会場としてだけでなく、ボランティア活動の拠点とし、緑化活動(町花やまゆり、しゃくなげなど)、美化活動(清掃作業)などを定期的に行う。



【ステージ上でのイベントに参加する子供たち】

【目標・ねらい】

- ①観光名所として内外に発信する
- ②地域の賑わいづくりの拠点とする
- ③住民主体のまつりとする
- ④地元住民の郷土愛につなげる

※自己評価【B】

【理由】

天候に恵まれたこともあり、大勢の協力者の下で、開催できた。

来年以降の自主開催を見据えた今回の大きなテーマである「住民主役」の部分は概ね達成できたと考える。

一方で、設備の購入等予定通りにいかないこともあり、今後の開催に課題を残した。